

救急車の適正利用に御協力ください！

緊急時に救急車が足りていません！救急車で搬送された人の 約5割が軽症 です。救急要請をするか迷ったときの相談ダイヤルを御紹介します。

長野県救急安心センター（＃7119）

大人（おおむね 15 歳以上）の方が、急な病気やケガ等で救急車を呼ぶか、病院に行くか迷ったときに、看護師等の相談員が電話でアドバイスします。このようなときは

局番なしの「＃7119」を御活用ください。

《相談日時》

平日：午後7時から翌日午前8時まで

土・日・祝日・年末年始（12月29日～1月3日）：午前8時から翌日午前8時まで



長野県小児救急電話相談（＃8000）

お子さんの夜間のケガや急病等の際、保護者の方々が対処に戸惑う時や、医療機関を受診すべきかどうか判断が難しい時に、応急対処の方法や受診の要否等について助言を行います。小児科医の支援体制のもと、看護師や保健師等が相談に応じます。

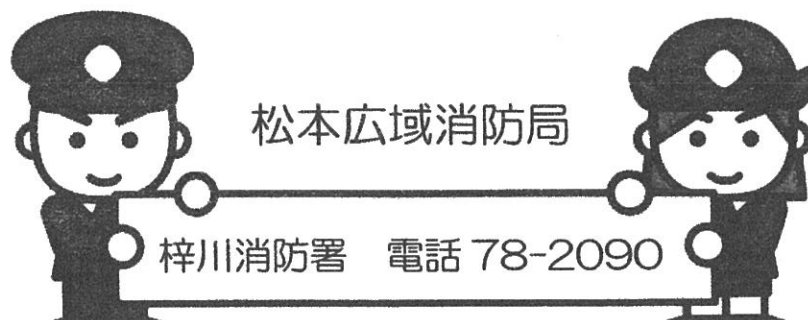
局番なしの「＃8000」を御活用ください。

《相談日時》 毎日：午後7時から翌日午前8時まで

緊急・重症の場合は迷わず

119番通報してください！

裏面もご覧ください



ヒートショックにご注意を!

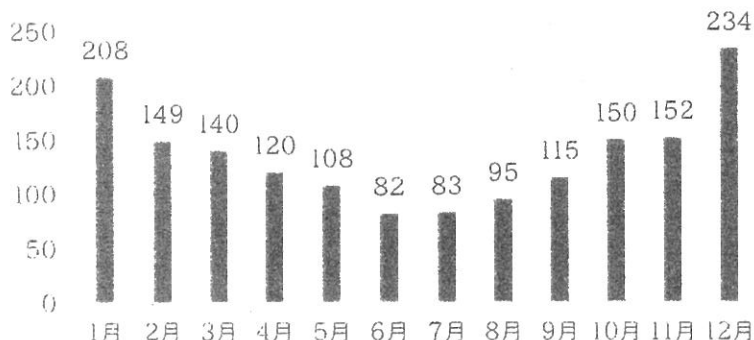
14.4%の方が浴室で死亡!!

令和元年から令和5年救急搬送され、傷病程度が「死亡」と判断された傷病者の発生場所が浴室であった割合は、14.4%でした。

浴室での救急発生件数は、12月から1月の冬季に多く発生しており原因の一つに、ヒートショックがあります。

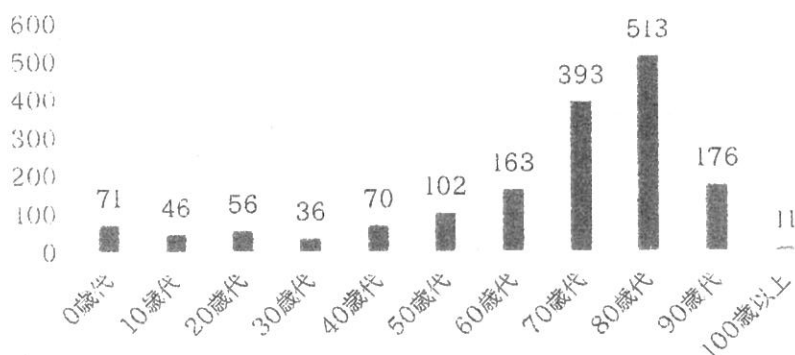
月別搬送人員(R1~R5)

令和元年～令和5年 救急搬送された浴室での傷病者



年代別搬送人数(R1~R5)

令和元年～令和5年 救急搬送された浴室での傷病者



ヒートショックとは

急激な温度の変化によって血圧が大きく変動することなどが原因で起こるといわれており、主に失神、不整脈などの症状が見られ、重症の場合は、死に至ることもあります。

また、持病のない健康な方でもヒートショックは起こる可能性があります。

ヒートショック予防のポイント

- 1 おうち全体を暖めて、温度のバリアフリー化をしましょう。
 - 2 浴室を暖める工夫をしましょう。入浴前のお湯はり時に浴室を暖めると効果的です。
 - 3 脱衣室を暖める工夫をしましょう。暖房機を設置するなど、入浴前から暖めておくと、リビングとの温度差がなくなり効果的です。
 - 4 トイレも暖める工夫をしましょう。暖房便座や暖房機を設置するなど、寒暖差をなくしましょう。
- ◎ これらの対策で、ヒートショックのリスクを回避し、安全に過ごしましょう!!



全国一斉

秋の火災予防運動

11月9日～15日



令和6年全国統一防火標語

守りたい 未来があるから 火の用心

令和6年火災発生状況（梓川消防署管内 10月1日現在）

合計	建物火災	林野火災	車両火災	その他の火災	死者数
7	3	0	0	4	1
梓川地区	1	0	0	2	0
三郷地区	2	0	0	2	1

※その他の火災とは、建物火災、林野火災、車両火災以外の火災をいいます。

中でも、野焼きやたき火を原因とする火災が多く発生しています。

松本広域消防局

YouTube → <https://www.youtube.com/channel/UCGFDD3TiptOFJJ-ODLMpF0w>

X(旧 Twitter) → https://twitter.com/Matsumoto_RFB



YouTube



X(旧 Twitter)

火災予防のポイント

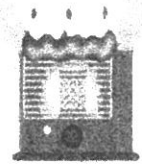
住宅用火災警報器

火災の早期発見のために定期的に点検し、10年を目安に交換しましょう



ストーブ

周りに燃えやすいものを置くのはやめましょう



たばこ

寝たばこや、たばこの投げ捨ては絶対にやめましょう



電気配線

コンセントはほこりを清掃し、たこ足配線はやめましょう



灯油の流出事故にご注意を！

危険物の流出事故は、火災発生の危険性があることはもちろん、河川に流出すると、水道水や水田等に大きな影響を与える場合があります。次のポイントを再確認しましょう！

- 1 ホームタンクから小分けするときは、絶対にその場を離れない。
- 2 万一、流出事故が発生した場合は、速やかに消防署（119）へ通報する。
- 3 河川等に油が流れているのを発見した場合も、消防署（119）へ通報する。



お問い合わせ先：梓川消防署
TEL: 0263-78-2090